

# WEEKLY REPORT



小澤直之会員  
結婚記念日のお祝いありがとうございました



渡辺敏弘会員  
結婚記念日のお祝いありがとうございます。  
47年目となりました。  
よくぞここまで続いたものです。  
やはり男は辛棒・女は我慢ですかネ。



齋藤國春会員  
50周年記念事業は皆様の協力のおかげで  
無事終わりほっとしております。  
費用につきましても 予定通り推移し 次の  
周年事業に 80万円ほど繰り越すことができました。  
  
本日はまた 私どもの結婚記念日の花束を頂戴し  
有難う御座います。58回目になりました。  
2人とも元気で暮らしており、それが何よりと思いま  
す。



中山知行会員  
誕生日のお祝い ありがとうございます。

# 松戸北ロータリークラブ会報



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 69.7%

## 第2391回 例会 2023年5月17日(水)

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| ■ 国際ロータリー会長 シェンファー・E・ジョンズ | ■ 例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)                  |
| ■ 第2790地区ガバナー 小倉 純夫       | ■ 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」                           |
| ■ 第13Gガバナー補佐 高橋 竜一        | ■ 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101                 |
| ■ 松戸北ロータリークラブ会長 大川 高明     | ■ TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910            |
| ■ 松戸北ロータリークラブ幹事 大塚 精一     | ■ Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

# WEEKLY REPORT

## <第237X回 例会プログラム>

司会 高橋一彦会員

12:30	例会開始時まで各自食事	
12:50	点鐘 ロータリーソング静聴 【♪奉仕の理想】	柳孝実副会長
12:50	会長挨拶・報告 幹事報告	柳孝実副会長 大塚精一幹事
13:00	地区研修・協議会参加者報告 社会奉仕委員会 国際奉仕委員会 青少年奉仕委員会 会員増強・職業分類委員会 会報・雑誌・広報委員会 ロータリー財団委員会 米山記念奨学会委員会	大塚精一会員 関征啓会員 小澤盛明会員 平田洋一会員 佐久間音弥会員 柳孝実会員 野澤新之助会員
13:25	【委員会報告】 ■社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表 ■ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表 ■出席親睦委員会 出席率発表	野澤新之助委員長 吉田俊一会員 平田洋一委員長
13:40	点鐘	柳孝実副会長



## <会長挨拶>

柳孝実副会長

皆さん、こんにちは。

昨日大川会長と電話で話をすることができました。9日の手術は無事に成功し、14日にICUから一般病棟に移ることができたそうです。ICUが長かったこともあり足腰が弱っていて、今リハビリを頑張っておられます。今週中に退院予定で、24日の講師例会は出席できるとご報告いただきました。



さてその講師例会ですが、いよいよ来週24日に迫って参りました。ご招待いただき入会候補者様の受付につきましては、先日ご案内の通り、本日が締め切りとなっております。私たち松戸北ロータリークラブの未来のためにも会員増強は欠かせません。講師例会はその絶好の機会ですので、もしまだご報告いただいていない入会候補者の方がいらっしゃいましたら、例会終了後にご報告ください。一人でも多くの方にご参加いただけますよう、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

次ページに続く

# WEEKLY REPORT

## <ニコニコ委員会> 諸事お祝い

吉田俊一会員



岡本真理子会員

お祝いありがとうございます。  
新しい歳になったので、まずは人間ドック申し込みます。  
あと10年位は40才と言いつけます

野澤新之助会員

誕生日のお祝いと結婚記念日のお祝いをいただきありがとうございます。  
私は、48才となりました。  
年男なので うさぎのように跳ねる年にしたいです。  
夫婦仲は ぼちぼちでしょうか。  
妻は近ごろは、韓国アイドルに夢中でございます。



関征啓会員

誕生日のお祝いありがとうございました。  
ここところ、仕事が忙しく例会でられずすみませんでした。  
本厄年ですが笑顔で乗り越えていこうと思います。



## WEEKLY REPORT

### <地区研修・協議会参加者報告>

米山記念奨学会委員会  
野澤新之助会員



研修では米山奨学生2人の方からの卓話がありそれぞれ魅力のある内容でした。そしてお二人共とても優秀な方でもありました。

まず一人目はゲンコウカさん。世話クラブ 木更津東RC  
中国の延辺ご出身です。延辺はロシアと北朝鮮に隣接する地区で朝鮮族です。  
留学して、日本の大学を卒業。日本企業へ就職。出産を機に退社し、再度大学院で米山奨学生となった。子育て期間中には日本のママ友などとも積極的に関わっており、異色の経歴の留学生のように感じました。

二人目はメイメイティさん。世話クラブ 松戸RC  
中国のウイグル自治区ご出身。この方は米山記念奨学生OBでした。  
卒業後も世話クラブとの交流が続いていて、当時のカウンセラーや土屋PGなどとも食事会などを行いましたと報告されました。

お二人ともロータリーの理念に共感していて、奉仕の精神で仕事に臨んでいるようです。  
また研修内で米山学友からロータリアンになった方はこれまでに257人、ガバナーにまでなった方は3人いることを紹介報告されました。

学友からの有事の際の寄付なども紹介がありました。  
東日本大震災では760万円最近では熱海土砂災害に150万円の寄付。  
総額は3980万円になりました。恩返しの気持ちが寄付につながっていると実感しました。

当クラブとしては、米山月間には奨学生を招いて卓話を依頼したり、米山の活動にもっと取り組むことも良いのではないかと思いました。  
先ほどの松戸クラブの例のように金銭援助のみならず人と人とのつながりが継続されるようなことがあれば、当クラブでも行う価値があるような印象を受けました。  
有意義な研修で大変勉強になりました。ありがとうございました。

## WEEKLY REPORT

本日はこのあと先週に引き続き、地区研修協議会の参加報告を発表させていただきます。  
本日は先週発表できなかった方も含め、大勢の方に発表いただく為、時間がないので、会長挨拶は以上とさせていただきます。

ありがとうございました。

### <幹事報告>

大塚精一幹事

皆さんこんにちは、幹事報告を申し上げます。

例会臨時変更のお知らせ

- ・松戸東ロータリークラブ  
5月19日（金） 屋形船遊覧移動例会に変更
- ・市制施行80周年記念 第43回江戸川クリーン大作戦の実施について  
松戸市長 本郷谷健次  
2023年5月28日（日）午前9時から1時間程度
- ・RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）DL養成コース開催ご案内  
RLI日本支部地区 小倉純夫代表委員他  
2023年6月10日（土）13；10登録開始  
千葉市民会館 3F特別会議室 参加費 1,500円/人
- ・「6.26ヤング街頭キャンペーン」の実施について（依頼）  
千葉県松戸健康福祉センター長  
2023年6月26日（月）午前11時～12時  
JR松戸駅西口及び東口デッキ
- ・関会員・廣瀬会員・野田会員3名が沖縄のRCにメイキャップ  
先程お配りしたのは、お三方のお土産「ちんすこう」です。



以上幹事報告でした。

## WEEKLY REPORT

### <地区研修・協議会参加者報告>

国際奉仕委員会  
関征啓会員



皆様こんにちは  
先日行われました地区研修協議会での本年度の方針ですが

隣県で第2820地区（この指とまれ事業）事業を模倣して第2790地区でもやりましようとなり名前だけ変えてTSUNAGU2790とし活動を行います。

まずどういう事業なのかと申しますと、国際ロータリー第2820地区独自の世界社会奉仕プログラムです。

趣旨と致しましては「一つのクラブでは資金的に困難な時、もう少し大きな事業をしたいとき、でも、ロータリー財団のグローバルブランドを使うほどの事業ではないとき」

事業の提唱クラブとなりプレゼンテーションを行い、地区内のクラブに賛助を募り、「賛助クラブがお金を出し合って事業を支援する」というプログラムだそうです。資金面やノウハウが困難でも提唱クラブに賛助することで国際奉仕プロジェクトに参加可能という仕組みです。

そもそも毎年のように国際奉仕をどのようにしていったらわからないとの声が多数出ている中で、隣の茨城県2820地区に「この指とまれ」という事業があるのがわかりました。

2820地区と交流をし「この指とまれ」プロジェクトを2790地区が行うことを歓迎されました。

2790地区ではこれを「TSUNAGU2790」プロジェクトと名前を付けました。各クラブとクラブが、他の地区、世界のクラブと手を繋いで、プロジェクトを行っていくという意味が込められています。

このプロジェクトが2790地区の国際奉仕活動を活発にし、各クラブがこのシステムに賛同いただき、国際奉仕活動に参加していただくことを願っております。

との事でした。

## WEEKLY REPORT

### <地区研修・協議会参加者報告>

ロータリー財団委員会  
柳孝実会員



地区研修・協議会のロータリー財団統括委員会部会に出席してきましたので簡単にご報告させていただきます。

当クラブに関連性のある点の報告とさせていただきます。まずロータリーの補助金にはグローバル補助金と地区補助金がありますが、今回当クラブにおいて梨狩り体験で申請し承認された地区補助金に次年度から変更点がありますのでご報告させていただきます。

プロジェクト1件当たりの補助金上限額が現在の30万円から60万円に増額されます。また申請は1クラブあたり1プロジェクトまででしたが、次年度からは最大2件のプロジェクトまで申請可能となります。ただし全てのクラブの1件目の申請承認後、補助金に余裕があった場合、2件目の申請承認が行われます。

次にロータリー財団奨学金制度についてですが、地区補助金での奨学金とグローバル補助金での奨学金があります。地区補助金での奨学金は国際理解と世界平和の促進を支援することを目的として授与する奨学金の上限額は2万米ドルとなっています。

今回当クラブがホストクラブとなり木下葵子さんをドイツに派遣しますが、これはグローバル補助金での奨学金です。

ロータリー財団が定めた7つの重点分野<1. 平和構築と紛争予防 2. 疾病予防と治療 3. 水と衛生 4. 母子の健康 5. 基本的教育と識字率向上 6. 地域社会の経済発展 7. 環境>のいずれかに合ったキャリアを目指す留学生を支援し、授与する奨学金の上限額は4万米ドルです。

ロータリー財団奨学金は単なる留学支援ではなく、ロータリーの目的推進に協力してくれるロータリーファミリーを育てるための資金提供です。従って奨学生を「派遣する」という言葉を使います。奨学生は同時にロータリー財団学友となり、学友会に入会することになります。2019年に逝去された元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんはロータリー財団奨学生の2期生で、日本女性で初めての奨学生でした。

最後に次年度のポリオイベントについてご報告いたします。今年度は成田空港で盛大にポリオイベントが開催されましたが、次年度は8月20日の千葉の親子三代夏祭りで赤いポリオTシャツを着て御神輿を担ぎ、また中央公園にブースやステージを借りてポリオ根絶プログラムの啓蒙活動を行うことを企画されているようです。

以上簡単ではございますが参加報告とさせていただきます。

## WEEKLY REPORT

その場合、ロータリーは奉仕をしているんだ、ポリオ根絶プログラムを行っているんだと、すぐに答えられるようになっていくことが望ましいわけです。

今年度、成田国際空港でポリオ啓蒙イベントがございました。

この活動でどのように公共イメージを伝えていたか、というところからバス一台をポリオ啓蒙活動の広告ペイントをしたり、成田空港出口付近の大きなディスプレイに広告動画を掲載したりしまして、具体的にロータリーの公共イメージを伝えていた様子をスライドショーや動画を通じて委員長からご説明がございました。

また韓国の人気グループBTSのメンバーが多額の寄付を行い、ロータリーのイメージアップに大変貢献されたという内容のものもございました。

皆さん一人ひとりできることとして、例えばロータリーでこんな活動をしているんだ、ロータリーに入ったからこそ、こんな人すごい人と出会えたんだ、こんなことでロータリーに入ってよかったと思えることがあったんだ、など皆さん一人ひとり違う「ロータリーストーリー」があるはずですよ。

そういったロータリーストーリーを隠匿するのではなくほかの皆さんにも情報発信して共感いただくような活動をクラブとして、会員として行っていただきたい、というのが委員長のお話でございました。

以上です。

### <地区研修・協議会参加者報告>

社会奉仕委員会  
大塚精一会員

4月29日の地区研修・協議会の社会奉仕委員会について報告申し上げます。

2790地区の社会奉仕委員会の基本的な考え方、各クラブが行っている活動の支援活動がマンネリ化している、又は何をしてもよく分からないクラブについては、他地区の社会奉仕活動を紹介します。社会奉仕委員会と他の委員会を横断的に繋ぐ手伝いをしたい。

令和元年に連続した災害（台風）が発生した関係で、第6グループ内に被災した場合お互いに支援する応援プロジェクトの体制を構築した、内容は行政に協力して更に支援していく、これと同じように2790地区全体で地域に貢献できるものを検討していく。

9月24日（日）奉仕プロジェクト推進セミナーを開催

以上社会奉仕委員会セミナーの報告と致します。



## WEEKLY REPORT

### <地区研修・協議会参加者報告>

青少年奉仕委員会  
小澤盛明会員



次年度地区青少年委員会の方針

1. 地区ロータリー学友連絡協議会の開催  
ロータリーのプログラムを経験した各団体の横の繋がりを育てるような会を開催したい。
2. 千葉 親子3代夏祭りへの参加  
学友会のメンバーなどと8月の夏祭りに参加したい。
3. 青少年へ希望を生み出そうプロジェクト  
優秀な方々の海外への派遣後ロータリーとの希薄の解消をするために、インターアクトにて講師をして頂き、経験談をお話し頂く。ロータアクト等に導きロータリーファミリーを増やしたい。
4. 希望の風チャリティーコンサートの企画・実施  
東日本大震災以降 小学生から短大・大学までの子供たちへの奨学金を支援するに当たり支援金不足のためチャリティーコンサートの企画・実施を行いたい。また、各クラブの一層の支援をしてほしい。

以上 4つの柱で活動していきたいということでした。。

### <地区研修・協議会参加者報告>

会員増強・職業分類委員会  
平田洋一会員



ロータリークラブはアメリカ発祥のためロータリー用語は英語がそのまま使用される事が多くあります。横文字を多用されると内容をスムーズに理解できないこともあるのではないのでしょうか。

今回の研修でも英語をそのままスローガンとして使用したものが、少しわかりづらい部分もありましたので、私なりに解説させて頂こうと思います。

2022-2023年度の国際ロータリーで初の女性として選出されたジェニファー・ジョーンズ会長は” DEI” というキーワードを掲げ、その重要性を語っています。DEIとはDiversity（ダイバーシティ）、Equity（エクイティ）、Inclusion（インクルージョン）の頭文字で、日本語ではそれぞれ「多様性、公平性、包括的」と訳されます。

次ページに続く

それぞれの言葉の意味を少しかみ砕いてみたいと思います。

## ①ダイバーシティ=多様性

集団のなかで年齢、性別、人種、経験、趣味嗜好などが異なる人が存在している状態で、その個性が認められる事です。

ロータリーでは、多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にしていく方針を掲げています。

## ②エクイティ=公平性

公平性というのは個人の違いを考慮し、それぞれに公平な機会が提供されることを指します。公平性の理解を深めるために、公平と平等の違いについて少しお話ししたいと思います。英語で公平はequity (エクイティ)、平等はequality (イコーリティ) となり、スペルが似ています。

「平等」とは、すべての人を同じように扱い、機会や資源を同じだけ利用できるようにすることで、個人的な差については考慮せず、みんなに平等に分け与える、ということです。例えば、紙を切る作業をするのに皆に一律同じハサミを配る、これが平等です。

しかし、その集団の中には左利きの人居て左利き用のハサミでないとならぬと同じように素早く作業できない人がいるかもしれません。もしかしたら子供も居て、子供用のハサミでないとならぬ作業すらできないかもしれません。これを考慮するのが「公平」です。

「公平」とは、個人の事情にも目を向け、一人ひとりのニーズに合わせた対応をしようとする点が特徴です。

## ③インクルージョン=包括的

これは「排除しない」という意味です。反対語はエクスクルージョン (exclusion) = 「排除」となります。

ロータリーでは一人ひとりが仲間を認めながら一体感を持てることを目標にしています。誰もが歓迎され、大切にされていると感じられ、お互いをサポートしあえる文化を構築し、帰属意識を持つことができるクラブづくりを目指そう、と国際ロータリーでも掲げています。

ジョーンズ会長は「持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界」というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、包括的な文化を培うことが不可欠である、と表明しています。

最近、上記の実践をより深めるために「アイコンシャスバイアス研修」というものを取り入れる企業が増えているそうです。アンコンシャスバイアスとは「無意識の偏見・思い込み」という意味です。具体例として「男性は料理が苦手」「最近の若者は根性がない」といった思い込みです。偏見や決めつけにもとづく言動は、組織の人間関係を悪化させやすいと言われます。性別や年齢などへの差別、思い込みが会話の中に持ち込まれると、疎外感や孤独感を抱く人が出てくることもあり得ます。無意識に発せられた悪意のない言葉であっても、受け取る側にとってネガティブな内容であれば、良好な関係性を築くことが難しくなります。

次ページに続く

新会員が溶け込みやすい包括的なクラブ文化を構築していくことが重要だと思います。また、世代間ギャップやジェンダーレス (性による社会的・文化的差別をなくすこと) などの多様性を理解しようとする事により、新たな奉仕の切り口が見えてくるのではないかと思います。より良いクラブづくりのために「多様性、公平性、包括的な文化」を表した“DEI”というキーワードがヒントになると幸いです。

## <地区研修・協議会参加者報告>

会報・雑誌・広報委員会  
佐久間音弥会員

2023-24年度 地区研修・協議会に広報委員長代理として参加してまいりました。

午後からの部会別会議中の5つの委員会のうちの1つである「広報・公共イメージ向上委員会」の松永委員長がお話しされた次年度の計画の内容を要約してご説明させていただきます。

委員長のお話はこういったことなのか、要約いたしますとロータリーの「公共イメージを向上させよう」というテーマでございました。



もう少し詳しくお話いたしますとまず委員会の名前に「公共」という言葉が入っていますが、公共とは「パブリックイメージ」のことです。つまりロータリーに対して周囲から受けるイメージということなのです。

今までは自分がロータリアンであること、クラブ会員であることを「陰徳の美」としていて周囲にあまり伝えていなかった、という方が多いと思いますがこれを

「隠匿から共感へ」

変えて伝えていこう、ということでございます。

次にもう少し掘り下げて具体的に委員長がご紹介されていたのは例えば、SNS (Twitter、Instagram、TikTok、Facebook)、メディアなどを使用してインパクトのあることを効果的に伝えていこう、ということでございます。

新人会員の方がロータリー以外の方から、「ロータリーって何をしている団体なのか？」と聞かれてもすぐに答えられない方もいらっしゃると思います。以上です。

次ページに続く